

くねっふ 議会だより

町の自然災害による今後の物流対策は
一般質問 ④ページ

191号



— 子育て支援センター「収穫祭」—
お母さんと一緒に枝豆の収穫に
夢中な子どもたち

も	9月定例会で審議した議案	②	ページ
く	議員報酬等の特例条例制定	⑬	ページ
じ	視察研修報告	⑭	ページ
	所管事務調査を実施	⑮	ページ
	議会の主なうごき／あとかぎ	⑯	ページ

一般会計1億2,374万円を補正(追加含む)

平成28年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計(第5号)

歳入歳出予算に3,858万5千円を追加し、総額を49億7,375万8千円としました。

■主な歳出内容

- くらしの便利帳作成業務
275万4千円を計上
- 自立支援サービス事業(国庫支出金等返還金)
518万3千円を追加
- 臨時福祉給付金
360万円を計上
- 障害・遺族年金受給者向け給付金
360万円を計上
- 児童手当支給事業(国庫支出金等返還金)
126万2千円を追加
- 店舗出店等支援事業補助金
600万円を追加
- 河川改修整備事業(山林川・酒谷川)
1,200万円を追加

一般会計(第6号)～追加議案～

歳入歳出予算に8,516万4千円を追加し、総額を50億5,892万2千円としました。

■主な歳出内容

- 防災対策事業(消耗品費他)
232万3千円を追加
- 道路災害復旧事業
3,143万7千円を追加
- 河川災害復旧事業
697万7千円を追加
- 農業用施設災害復旧事業
4,021万4千円を計上
- 林業施設災害復旧事業
350万円を計上

国保会計(第1号)

歳入歳出予算に1,072万3千円を追加し、総額を10億6,132万3千円としました。

■主な歳出内容

- 国庫支出金返還金
1,022万8千円を追加

下水道会計(第2号)

歳入歳出予算に416万2千円を追加し、総額を1億9,555万円としました。

■主な歳出内容

- 個別排水処理浄化槽設置工事
400万円を追加

予算関連質疑応答

Q 「くらしの便利帳作成業務」について、便利帳の内容や編集作業の状況、お年寄りへの配慮は。

A 「お年寄り生活事典」作成の提言が一般質問であり、その意見も参考にして、全町民や転入者も活用できるような範囲を広げて作成します。

各課の若手職員によって編集集中で、ポイントを絞り、カラー60ページ、3千部を作成し来年3月に全戸配布を予定しています。

活字を大きくし、お年寄りにも読みやすく工夫します。

Q 8月の台風、大雨による農地などの被害に対する「農地災害復旧助成事業補助金」700万円の内容は。

A 事業対象者は訓子府町に在住し、農

業を営む個人および法人です。

対象となる工事は、
①法面や取り付け道路などの復旧②表土・心土・暗渠の復旧③農地に堆積した土砂・砂利などの除去④排水路に堆積した土砂の除去や断面の復旧で、事業費が1戸当たり40万円以上の工事で、補助率は事業費の3分の1以内、補助金の上限は100万円です。

平成29年12月31日までに工事を終了したものが対象となります。

条例の制定等

◆議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定

原案可決

町議会議員が傷病その他の事由により長期間にわたり議員としての職責を果たすことができない場合の議員報酬および期末手当の減

額の特例を定めるため条例を制定しました。

◆町道路線の廃止および認定

原案可決

道道置戸訓子府北見線拡幅工事に伴い、本路線の起点が変更になることから、既路線を廃止し、新たに町道認定しました。

◆網走地方教育研修センター組合規約の変更

原案可決

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、規約を変更しました。

◆農業用施設災害復旧事業の施行

原案可決

農業用施設災害復旧事業（排水路）の施行について議決しました。
実施地区…北栄
事業費…2,500万円

人事案件

◆教育委員会教育長の任命

原案同意

平成28年9月30日に任期満了となる教育委員会教育長に林秀貴さん（栄町・再任）を任命することに同意しました。

◆教育委員会委員の任命

原案同意

平成28年9月30日に任期満了となる教育委員会委員に白崎隆徳さん（旭町・再任）を任命することに同意しました。

◆人権擁護委員の推薦

適任と決定

平成28年12月31日に任期満了となる人権擁護委員に山本寛身さん（東幸町・再任）が適任と決定しました。

認定

◆平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定

◆平成27年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成27年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成27年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定

◆平成27年度一般会計、国保会計、後期高齢者会計、介護保険会計、下水道会計、水道会計の決算認定を「決算審査特別委員会」に付託しました。

◆決算審査特別委員会の構成

委員長 西森 信夫
副委員長 山田日出夫
委員 須河 徹

〓 堤 三樹磨

〓 決算審査特別委員会の審査日程

10月27日～11月4日

日の5日間（土日・祝日・11月1日を除く）

報告

◆平成27年度財政健全化及び経営健全化の比率

報告了承

平成27年度財政健全化及び経営健全化の比率については、8月3日に監査委員から関係調書の審査を受け、8月8日付で「健全化判断比率及び資金不足比率の算定基礎事項書類については、いずれも適正に作成されていることを認めます。なお、今後とも大型投資事業の実施が予測されますが、さらに財政運営に配慮し、健全化への前進を望みます」との意見があったことの報告がありました。

〓 財政的援助団体の監査結果報告

報告了承

監査委員から、平成27年度に係る財政的援助団体の監査の結果

「補助金に関する事務については、適正に執行されているものと認められます」との報告がありました。

〓 監査対象

・訓子府町農民連盟（8月3日実施）

〓 出納検査結果報告

報告了承

議員の派遣

◆議員の派遣 決定
議員の派遣を決定しました。

〓 北網ブロック町議会議員研修会（10月20日 美幌町 全議員）

〓 道外行政視察研修（11月15日～18日 長野県飯綱町・小布施町・下諏訪町 全議員）

一般質問

8名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

町の自然災害による今後の物流対策は

町長 ▼ 状況変化に応じた対策を講じる



西森議員

Oha、その他公共施設も被害を受けています。西森 今回の台風・豪雨に対する町の防災対応について伺います。

町長 台風接近に伴い職員による道路・河川パトロールや溢水危険のある河川への土のう積み、排水ポンプアップ、路肩崩落など通行に支障のある道路へのバリケード設置、自主避難者受け入れ、防災担当職員の役場待機などの対応に当たりました。

西森 台風被害によりJR北海道が全道で数か所被害を受け分断、消費地へ向け農産物輸送の滞りが心配されます。本町の対応を伺います。

町長 きたみらい農協では、トラック輸送や

請活動などを実施していきます。

西森 北海道の北東に位置する本町から本州の消費地に向け空路か、陸路か、鉄道貨物か、トラック貨物か、今後の物流に関する基本的な考え方について伺います。

町長 JR貨物便による農産物輸送に関してはオホーツク圏活性化期成会等が中心となり

JR・道・国への要請活動を実施し、平成26年度以降も運行が継続されることで農産物輸送体系については支障がないと認識しています。しかし、その後のJR北海道の鉄道事業の抜本的見直し案もあり、その影響が懸念されます。

今後の物流についての基本的な考えは、引き続き輸送コストを維持するための方策を状況の変化に応じ、その都度関係機関と連携しながら講じていきます。

西森 将来への物流を考えた時、高速・一般道路の整備や災害復旧に対し、今こそ道議会議員・国会議員の力を借りるべきではないですか。

町長 高速道路の要請は何度となく行っており、今後もあらゆる方法で道や国へ強く要請していきます。



8月の豪雨で路肩崩壊の被害を受けた相内線

公共施設等総合管理計画の考え方は

町長 ▼ 管理計画による検討で施設計画を策定



堤 議員

堤 総務省から要請

され策定した公共施設等総合管理計画について伺います。公共施設等を今後50年間現状保持で更新費用を試算すると、年平均19億円の負担額とありますが、町の実質負担はどうなりますか。耐用年数切れが迫る公共建築物の更新試算額、また管理計画の今後の活用について伺います。

町長 公共施設等総合管理計画は、全ての公共施設を耐用年数どおりに更新した場合の費用を推計したものであり、補助金・交付金・

過疎債等の財源は計上

していません。平成27年度末時点で耐用年数を超過している建築物の面積は2万㎡、更新費用が約29億円と試算しています。いずれにしても総論としての計画であることをご理解願います。

また管理計画の活用は、各施設とも管理計画に定める基本方針による検討を行い、施設計画を策定し総合計画実施計画に搭載することになります。

堤 この計画は議会

や町民に対し随時情報提供を行い、町全体で共有化を図るとありますが、計画はどこまでまたどのように開示するか伺います。

町長 公共施設の適正

配置の検討をする際に、

認識の共有化を図ることにしていきますので、個別施設の配置を検討する際には広報やホームページを活用し、配置や計画書の一部を随時情報提供することになります。

堤 インフラ資産は

更新費用もかかり、自主財源も厳しい中、耐用年数超過だけでは単純に計画を組むのは不可能だと思えます。改修・修繕での長寿命化が主で問題先延ばしが現実と思えますが、

町長 ライフライン、

特に上下水道は確実にやっつけていかなければならないことですし、道路・河川・橋梁（きょうりょう）についても国交省よりインフラ長寿命化基本計画策

定を求められています。インフラ資産については、国の最重要事項であることから、何らか

の財源的措置を国が行い、町が進めていくということになります。

訓子府墓地の

環境整備の考えは

町長 ▼ 現状のままの管理運営が適当

堤 墓地の環境整備として墓地内の通路を整備する区画整理の考えはないですか。

また合同墓についての検討状況と、町の認識について伺います。

町長 訓子府墓地第1区は昭和5年に北海道の認可を受け、現在の区画図面となっており、

ですが、細い墓地通路は52本あり総延長2.4kmです。過去の経過や使用者との権利関係もあり、整備できなかつた事情から現状のまま管理運営の継続が適当と考えています。

また合同墓については町としてその必要性

を十分認識しており、担当課において早期建設に向けた検討を重ねています。

堤 お墓には人それぞれの考えがあり、これらの山でもお墓になると考える人や、お墓は亡くなった方や先祖の帰る家と考える人もいます。その先祖の家

の前がけもの道と見まがうばかりでは、子どもや孫にお墓を守るお願いはとてもできません。お年寄りでも行き来しやすいよう整備する考えはありませんか。

町長 墓地は地形の問題もあり、今の落ち着いた状況の形状を変え、心配もあるため、従来どおり清掃と草刈りを徹底して管理していきたいと思えます。訓子府は霊園ではなく墓地であり、最低限の施設管理が現状であることをご理解ください。



訓子府墓地内の通路

町の実情に合う地域包括ケアシステムは

町長 ▼ 地域の資源を総動員するシステム



西山議員

西山 団塊の世代が

75歳以上に達する2025年には、年金・医療・介護の支出が急激に増えることが予測されます。

町民の誰もが、可能な限り住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、今まで進めてきた取り組みの中から、さまざまな課題を整理し地域住民とのコミュニケーションをとりながら解決策を生み出すことが迫られています。昨年4月から始まった「ふまねあいプロジェクト」の実績と課題は。

町長 このプロジェクト

トは、高齢者に係る地域課題を住民や関係機関が共有し、高齢者を支える地域づくりを図ることを目的としています。

内容は地域役員との意見交換と認知症サポーター養成講座の開催です。

27年度は意見交換会が11回で99名の参加、認知症サポーター養成講座が9回で204名の参加実績です。

その中から見えた課題は、高齢者の足の確保や、気軽に集まれる場所を求めているものの老人クラブへの参加が少ないなどです。

西山 介護家族を支えあう会「かなえーる」の

一年間の実績と課題は。毎月1回の開催

で、27年度は実人数23名、延べ人数38名の参加です。28年度は8月末現在で5回、実人数29名、延べ人数53名です。

課題は、認知症の方は家族と自宅で過ごす時間が長く、家族の介

護負担の増大につながっているため、地域の中に認知症の方が集える場所が必要とされていることです。

西山 来年度以降の介護予防事業の計画は。

町長 予防給付だった訪問介護・通所介護、介護予防事業の来年度からの新総合事業移行

に向け「ふまねつとサポーター養成講座」や「介護予防の体操」など



ふまねつとサポーター養成講座

を地域に広げる人材育成に取り組んでいます。具体的には、デイサービスその他「筋活クラブ」「はっちゃき塾」の開催、各自治会での「ふれあい事業」などへの支援です。

西山 町の実情に合った地域包括ケアシステムの構築への取り組みは。

町長 これは、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生活支援が包括的に提供されることで、いわば地域の資源を総動員するシステムです。本町の課題は、訪問診療ができる医療機関の不足と24時間体制の在宅サービスがないことです。入退院の高齢者情報共有のための退院調整が10月から運用開始されることと、「認知症初期集中支援チーム」の体制を保健所を中心として組める

ようになりました。

社会福祉協議会と福祉保健課に加え、今年度から社会教育課の職員も参加して、本町に合った生活支援サービスの充実について検討し、住民の方や関係機関にも呼びかけ29年に協議体を立ち上げます。今年度は、助け合いの講演会やワークショップを開催し一歩ずつ前進させたいと思います。

西山 町民のニーズに応じた住まいの確保は。

町長 今後は、まちの中に高齢者住宅が必要とされることが予想されますが、その動向を見極めつつ、民間活力を活用しながら支援の方法などを検討します。

※西山議員は、この他に「芸術作品移設後のレク公園のあり方とまちづくりの未来図は」の質問をしました。

産官学プロジェクト予算措置の一年延期を

教育長 ▼ 議員の意見を参考にによりよい芸術文化活動を



余湖 議員

余湖 彫刻移設と今後の武蔵野美術大学との連携についてどのようなことを考えているのか。

教育長 多彩な文化芸術活動に触れる機会の提供と人材育成として「パブリックアートによるまちづくり」を今後展開していくことにしていますが、彫刻移設に伴い、作者の出身大学であり後進への指導をしていた武蔵野美術大学の関係者から多くの支援をいただき関係を築くことができました。大学と連携することにより本町の町民や子どもたちの文化芸

術活動の充実が図られると考えています。

具体的な内容としては、一つ目として彫刻の移設とともに町民の文化芸術に関する関心や理解を深めるために、芸術とひとつくりやまちづくりに関する講演を行います。

二つ目として平成29年度以降に武蔵野美術大学産官学プロジェクトの協力を得ながら、学校や地域において子どもから大人までを対象としたワークショップ的な事業の展開で、「表現すること」「感じ取ること」の大切さを学びながら、ふるさと訓子府での貴重な体験の一つ一つが子どもたちの郷土愛を育むもので、夢と希望を与える

と考えています。

三つ目として大学から推薦いただいた学生の作品を町内に設置し展示することを考えています。

この取り組みは、29年度から当面は5年間実施し、途中見直しを図りながら継続を考えていますが、大学と協議を行いながら絵画などさまざまな芸術分野にも広げていきたいと考えています。

四つ目として町内に設置されている彫刻などの作品の清掃や修繕を含めた適正な維持管理を行い、貴重な文化資源を町民とともに保存していくことを考えています。

こうした芸術鑑賞や創作活動、文化資源の

保存などの機会を通じて、町民や子どもたちの心を育む教育活動を進めることよって、ふるさととの歴史や自然・文化を大切に受け継いでいく人材育成を図ることが重要と考えています。

余湖 来年度からの大きな予算が必要な学生への制作支援など大学との産官学プロジェクト

トの事業に関しては、町民の理解を得られるように地道な活動から始め、実施については一年間の延期を考えるべきでは。

町長 教育委員会から出てきた予算を来年度の予算に計上するに当たって議員の意見も参考にさせていただきます。

教育長 議員の意見を



レクリエーション公園へ移設される彫刻(イメージ図)

参考にさせていただき、よりよい芸術文化活動を考えたいと思います。

※余湖議員は、この他に「地域活性化チャレンジャー事業の選考基準と考え方について」の質問をしました。



みんなで作った120年

僕らがつなぐくんねっぷ

被害を受けた農家に対する支援は

町長 ▼ 農地災害に関しては追加補正で提案



工藤 議員

本町における被害状況は。

町長 8月30日時点で被害戸数103戸、被害面積100haに上っています。

工藤 8月17日から22日にかけての台風と大雨により、本町においても農地や農道、農作物に大きな被害が生じており、その復旧には多額の費用を要するものも少なくありません。

内訳として、冠水が43ha、表土流亡が36ha、作物流亡が10ha、倒伏が7ha、ほ場陥没が2ha、土砂流入が1ha、法面崩壊が1haとなっています。



台風で多くの農地も被害に

作物別に見ると、玉ネギ28ha、ジャガイモ25ha、てん菜16haのほか各作物に及んでいます。

工藤 被害を受けた農家に対する支援を考えると、

町長 早期の復旧が必要で、今定例議会において追加補正予算で提案する「訓子府町農地災害復旧助成事業」による支援を行う考えです。

公共施設の議論はまちづくりの議論では

町長 ▼ 本質と役割も見据え協議・検討したい

工藤 国は「公共施設等総合管理計画」を今年度までに策定することを要請しているが、このことについての見解を伺いたい。

町の多くの施設が更新時期を迎えていることも事実です。

本質や役割についての認識が重要と考えるが町長の見解は。

町長 上下水道、道路、橋梁、河川などは町民生活の根幹をなすインフラ資産であり、日常的な維持をはじめとして老朽化、安全確保のため長寿命化計画や更新計画が必要となります。

町長 地方分権改革、施策の評価は別として地方創生施策や過疎対策事業債の同意基準、社会資本整備総合交付金の採択要件に影響を与えることなど、全国一律の国の進め方に課題を残しながらも、本

総論としての計画ではありますが、一元化した組織体制、点検、診断の実施や財政負担の軽減・平準化、全施設の更新費用を推計するなど今後の公共施設などの方向性を示しています。

工藤 この計画の策定や実行に当たっては、公共施設が持っている

「賢く使うこと」を町民の知恵とパワーで創っていくことが求められています。

工藤 公共施設をめぐる議論はまちづくりの議論でもあると考えるが町長の考えは。

町長 利用者、利用団

体をはじめ多くの機会が町民と議論し、施設の本質と役割も見据えながら協議、検討していきます。

まちづくりの根幹をなす施設については、今後のまちづくりの方向性も含めた機能拡充や利用階層拡大など施策の議論も必要です。

第3回定例会は、6名の傍聴がありました。

議会を傍聴してみませんか。

平成28年第4回定例会は12月中旬頃に開催する予定です。

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ

人口減少と高齢化の中、教育と地域の関わりは

教育長 ▼ 高齢者の経験や知恵を地域で活用



須河 議員

【須河】 平成27年12月に教育大綱が策定され、教育目標が掲げられました。本町の教育振興について、人口減少と高齢化が進む状況の中で、地域と教育をどのように結び付けるのか伺いたい。

【教育長】 本町の将来を担う人材を育成し、子どもたちが生き生きと学び育ち、あらゆる世代が自ら学び、成果を地域社会で生かせるよう、「子どもたちの笑顔輝く教育のまちづくり」を目指して、教育の振興に努めています。人口減少と高齢化が

進み、一人暮らしや高齢者世帯が増えており、自立した暮らしや生きがいづくりのために社会教育での高齢者教育の充実が求められます。

地域と教育の関わりは、さまざまな地域の人材や資源である高齢者の経験や知恵、学んだ成果を地域で活用するなど地域と教育の結



居小児童たちに「絵手紙」を教える
絵手紙サークルの皆さん

び付きが大切と考えています。

【須河】 こども園において、火災・震災など発生時の避難対応に職員の人数に不足はないか伺いたい。

【教育長】 開園時の在籍園児数は、173名となっており、職員数は園長、副園長の他、保育教諭20名、保育支援員・補助員8名の合計

30名となっております。年間5回の避難訓練を計画し、3回実施しています。

既に実施した訓練から、現状の職員人数で不足はないものと考えています。今後も園児の安全確保のため、いろいろなケースを想定した避難訓練の実施を行いたいと考えています。

今後の行政ビジョンで 大型建設事業は

町長 ▼ スポーツセンター建設が喫緊の課題

【須河】 本年スポーツセンター建設の基本設計、障がい者多機能型グループホーム建設費補助、長寿会館建設費補助などの予算が付き、建設に向け前進しています。今後の建設事業の有無を伺いたい。

【町長】 スポーツセンターの建設が喫緊の課題であり、財源は交付金

や過疎対策事業債を考えており、国の予算も厳しい中、全力を挙げ取り組んでいきます。

また、図書館整備事業につきましては、国の地方財政措置の方向性や本町の財政状況を見極めながら、今後実施に向け検討していきます。

一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき2問までを掲載し、内容を要約しています。

その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は図書館に備えてあります。また、町ホームページ(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/>)にも掲載しております。

なお、会議録公開については、議会終了後3か月程度の期間を要します。

人口増対策事業の推進は

町長 ▼ 高機能な民間住宅建設を支援



山田 議員

山田 大型公共施設の建設は人口にどのように関係するか。

町長 人口と公共施設の相関性の直接的影響を試算することは困難です。

山田 公共施設は人口推移や財政不安、利用状況などを見通して過剰な建設は避けるべき。スポーツなどはどう建てるつもりか。

町長 基本的には現行とほぼ同じ面積を考えています。

山田 人口増減の町財政や町づくりへの影響は。

町長 町財政では地方

交付税や町税などに、町づくりでは産業、雇用、福祉などへの影響が大きいです。

山田 平成27年度普通交付税は22億円強で町民1人当たり43万4千円と人口の影響は確かに大きく、人口対策の事業をすぐに始めるべきと思うが。

町長 第一次産業振興を中心に地道に進めますが、議員がご指摘の人口対策も進めなければと思っています。

山田 定住は住み慣れた人々の力の蓄積が、移住者は新しい交流や体験、教育など多様な効果が生まれると考える。このようなソフト面の効果がある人口対策を重視すべきでは。

町長 その効果は町民

に優しい町と究極的に同じだと思います。

山田 人口対策の要の定住・移住事業の成果と中期的な進め方は。

町長 定住・移住の促進は中期計画である地方創生総合戦略でも重視しています。人口移動にはさまざまな要因があり、成果については時間が必要です。

山田 各事業の対象が限定的で職業の偏りもあり、全町民に響いていないのではないかと。

町長 行政は総合的な対応です。ご意見としてお聞きします。

山田 産業振興は当然必要で、それでも人口流出が続くなら、勤労者など一般住民の移住にも力を入れるべき。

移住促進の「つば

は、町の魅力を伝え、勧誘・歓迎の仕組みづくり、移住情報の発信と考えるが、本町の「売り」は何か。

町長 わが町の「売り」は、安心安全の農業、豊かな自然、素晴らしい人々だと思います。

山田 町にはソフト、ハードの豊かな資産があり、誕生から「子育て人づくり」に熱心である。今の親御さんは子どもを一番大切に考えた人生の送り方をしている。

「訓子府 産んで子育て人づくり」ここにこピンピン 終の棲家」とキャッチフレーズが浮かぶが、「子育て人づくりの町宣言」をしてはどうか。こんな魅力の「売り」はどうか。

町長 まだまだ町のPR不足かもしれませんので参考にします。

山田 移住の勧誘・歓迎の人口増にストレー

トな事業として、宅地分譲や移住奨励金などの事業の検討は。

町長 過去の宅地分譲は定住に一定の効果がありましたが、現時点では二の足を踏んでいます。移住奨励金は参考にします。

山田 移住促進のための事業とリンクした戦略的な情報発信は。

町長 議員の提言を参考に戦略的な内外への情報発信を研究します。

山田 平成29年度予算に向けて人口対策事業に向けて人口対策事業で検討しているものは。

町長 住宅需要に応じ、本年度は道立高校教員住宅を取得しました。29年度は機能性の高い民間住宅建設への支援を検討中です。

※山田議員は、この他に「酒谷川の治水対策について」の質問をしました。

請願、陳情される方へ

国や道、町などに意見や要望がある場合は、どなたでも請願書や陳情書を議会に提出することができます。

請願書や陳情書を提出される方は、書式例を町ホームページに掲載しておりますので、参考に作成してください。

分からないことがありましたら、議会事務局までお気軽にご相談ください。

(<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/gikai/seigan.html>) 議会事務局 ☎47-2184へ

大雨被害の根本的な対策の考えは

町長 ▼ 予算上難しいが適正な維持管理に努める



河端 議員

河端 異常気象による豪雨災害が起き、このたび町内全域にわたり大きな被害が出ました。大雨の際、溢水・氾濫の恐れのある箇所は毎回ほとんど同じですが根本的な対策の考えはありませんか。

町長 紅葉川や酒谷川、山林川などは毎回のように被害を受けています。山林川は大規模改修を計画しており、酒谷川は、昨年度改修工事を実施し、今回の被害を最小限に食い止めることができましたと認識しています。

予算の関係もあり、根本的な対応は難しいですが、順次、町単独事業での小規模河川整備を進め、地域の協力のもと、日ごろからの適正な維持管理に努めます。

河端 今回、北栄・駒

町長 初動パトロールは、3〜4名の編成で4班で行い、通行止め

里・福野地区などで道路被害がありました。夜間見回りなどの際、安全確認はどのようになされていますか。

バリケードなどで対応しています。

河端 備蓄ガイドラインにより計画的に町の備蓄が進められていますが、今後の想定外の災害に向けてポートなども必要になりませんか。

町長 備蓄品の整備・補充など適正管理を行い、今後も本場に必要な備蓄品を整備していきます。

河端 台風7号で訓小前の榎の大き木が倒れました。幸いにも道路側に倒れず、夜間で通行

人・通行車両もなく大事に至りませんでした。街路樹や公園の樹木の管理は十分なされていますか。

町長 毎年計画的に剪定作業を行っています。今後も樹木医の指導をいただき、適正な管理に努めていきます。

芸術文化振興の考え方は

教育長 ▼ 町民ニーズに合った事業展開を図る

河端 本町出身の彫刻家の作品が移設され、それを機会に芸術文化の振興を図るとの活動方針が出されましたが、社会教育委員や文化団体などの声を聞いていますか。

教育長 今後開催される文化連盟や社会教育委員などの関係機関・

購入などの依頼があった場合どのように考えますか。

教育長 今後も、本町出身者やゆかりのある方々の作品展示や発表の機会を作り、さらに多くの意見を聞いて可能な限り作品の購入や寄贈などを受け入れたと考えています。

河端 これからの芸術文化の振興の方向性をどのように考えていますか。大学側に全てお任せするのですか。

教育長 文化芸術活動方針に基づき、武蔵野美術大学産官学プロジェクトの活用を行い、連携を図るということで全て大学側に任せるのではなく、文化団体や関係機関など町民にも企画段階から参画していただき、町民ニーズに合った事業展開を図っていききたいと考えています。



ガイドラインに沿って整備している防災備蓄品

町長からの行政報告(要旨)

◆北海道横断自動車道の工事進捗について

北海道横断自動車道網走線の陸別小利別～訓子府インターチェンジ間の区間は、平成28年度中の開通を目標に工事が進められてきましたが、天候や地盤の影響で工事に遅れが生じ、平成29年秋ごろの開通の見通しとなることが北海道開発局から公表されたことの報告がありました。

議決した意見書

－議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に意見書を提出しました。－

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める要望意見書

1. 「森林環境税（仮称）」等を早期に創設し、森林の整備や木質バイオマスの有効利用など、森林吸収源対策を推進すること。
2. 森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。
3. 森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みに対する支援措置を充実・強化すること。

◆農業・農村を崩壊させかねない農政改革とTPPの拙速な国会承認の反対を求める要望意見書

1. 生産現場を置き去りにした官邸主導の規制改革・効率優先の農政をあらため、食料自給率向上と農業・農村の多面的機能の発揮を図り、持続可能な農業生産と農村社会の維持を担う家族農業などを守り育てる基本政策を確立すること。
2. TPP協定における農畜産物の市場アクセス内容は、新たな輸入枠の設定や関税削減など全ての品目で譲歩しており、重要5品目の聖域を守るとした国会決議に明らかに反していることから、国会承認は断じて行わないこと。

◆「米政策改革」の抜本の見直しを求める要望意見書

1. 国は、食糧法に定める「米穀の需給及び価格の安定」の責務を遂行するため、豊凶を含む環境の変化に応じた需給調整対策に官民一体となり取り組むとともに、主導的役割を最大限に果たすこと。
特に、生産調整の円滑な推進に向け、生産数量目標達成のためのインセンティブ措置（米の直接支払交付金）を継続すること。
2. 国民の主食である米の再生産を確保し、それを担う中心的な稲作農家の経営安定を図る観点から、生産現場で最も要望の多い主食用米の生産コストと販売価格の差額を補てんする直接支払制度を導入すること。
あわせて、水田農業の持続的発展に資するため、日本型直接支払制度の見直しと各種施策の拡充強化を図ること。

◆指定団体制度の堅持など酪農政策の確立に関する要望意見書

1. 指定団体制度が果たしている基本的機能を的確に評価して国民理解を深め、引き続き、その機能が十分に発揮できるよう制度の根幹を堅持し、安全・安心な国産生乳の安定供給に資すること。
2. 家族経営や農業生産法人など多様な酪農・畜産の経営安定と再生産確保を可能とする直接支払制度を確立するとともに、生産基盤の強化対策の拡充など酪農・畜産の持続的発展を図る施策を推進すること。

長期欠席議員の報酬特例条例を制定

活性化特別委員会で10回論議重ね

長期欠席した議員の報酬などを減額する規定を設けた「議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」を議員発議により9月定例会に提案、可決し、平成28年10月1日に施行されました。

長期間欠席した議員に係る議員報酬のあり方を規定した法律はなく、報酬を辞退、返還することは公職選挙法に規定される寄付行為に該当するため、禁止されています。

そのため、議員としての職責や住民への信頼を維持するため、議員が傷病などにより長期欠席、あるいは住民の信頼に反する行為として刑事事件に関わった場合に、議員報酬や期末手当の減額等のルールづくりが必要であると、議会活性化特別

委員会の中で論議してきました。

このルールづくりは、平成25年1月に協議事項として委員から出され、本格論議は平成28年2月に開始しました。以降、10回の論議を重ね、議会の厳格な姿勢を示した条例を作り、9月定例会に議会運営委員会から提案し、全会一致で原案どおり可決しました。

条例の要旨は下記のとおりです。



議会運営委員長が提案説明

「議会の議員の議員報酬等の特例に関する条例」(要旨)

(目的)

議員の職責および議会への住民の信頼を維持するため、議会活動や議員活動に係る会議等のほか、議員の刑事事件に係る規定を含め、議会活動ができなくなった場合の議員報酬および期末手当の支給について特例の条例を制定する。

(主な内容)

- ①長期欠席議員の議員報酬の減額割合は、90日を超え180日以内は3割、180日を超え365日以内は4割、365日を超えるときは5割とする。この場合、期末手当についても基準日（6月1日および12月1日）前3か月以内における議員報酬の支給割合を適用する。
- ②減額の適用除外規定として「公務上の災害等」や「出産、その他議長が認める場合」は減額を行わない。
- ③刑事事件の被疑者または被告人として逮捕、拘留、身体を拘束される処分を受けた場合は、その日から議員報酬の支給を停止する。また、基準日の前それぞれ6か月以内の期間で議員報酬の支給が停止され、基準日に逮捕等の処分が継続している場合は、期末手当の支給も停止する。
- ④刑事事件の有罪判決が確定した場合は、停止されていた議員報酬や期末手当は支給しない。

視 察 研 修

浦幌町議会視察

堤 三樹磨

台風7号翌日の8月18日、台風被害のすごさを目の当たりにしての十勝訪問は、その後の大災害の予兆であることすら知らずの視察路でした。議会活性化と議会基本条例制定の先進議会である浦幌町議会を視察しました。浦幌町議会は前回の統一地方選挙で、道内唯一議員定数割れをした議会であり、危機感と議会存続意識の高さを強く感じました。

二元代表制の下、町民の意思を代弁する合議制機関としての役割の重要性を唱えながら、現状を理解するため実施した町民アンケートの結果も厳しい指摘が多かったようです。改革には日曜議会・ナイター議会・まちなかカフェDE議会と町民の声を聞く努力をしているが実情は厳しく、議会基本条例を制定することで町民に議会の意思を理解してもらい、第2次の議会活性化スタートで自らを鼓舞し実践・意思表明する考えには大いに共鳴しました。

「不言の心(人)の声を練り返し聞くべき」との田村議長の声が強く印象に残りました。議会活性化も厳しい道のりであることを実感させられる研修でした。



広尾町議会視察

西 森 信 夫

8月19日、十勝管内広尾町議会へ訓子府町議会展行政視察研修に行きました。今回は「議会改革(議会基本条例)について」「障がい者福祉施策について(障がい者福祉サービス多機能型事業所等)」を研修しました。

研修では町長、議長に対応していただき、町長からは十勝と北見圏が互いに協力し、道や国に対し道路整備を要請すべきなど大変力強い経済関係の話をいただきました。49歳の議長は広尾町議会での基本条例制定までの流れを説明し「議会改革は何もやっていないのが現状です」と隠すことなく発言をされ、現状の問題を議会・議員は町民から何も期待も関心も持たれていないことと感じているようでした。議会活性化、条例制定は各議員の資質の向上と考え、襟を正して活動することが必要と話されました。障がい者福祉施策については、昭和56年建設の林業振興センター施設を改修して障がい福祉団体活動の利用を開始し、町民の要望にこたえ就業継続支援B型、生活介護、障がい児放課後等デイサービスなどの実施に最小限の資金をフル活用し努力している状況でした。

広尾町議会の基本条例制定後の実践がなかなか進んでいないという状況は、条例制定議論を進めている本町議会にとつて、今後議論を進めていく上で、また制定後の条例を点検・評価する過程において大いに参考になるものと感じました。



広報研修会(札幌市)

須 河 徹

8月23日、札幌市で議会広報研修会が開催され、出席しました。

講師は議会広報サポーターの芳野政明氏で「住民に読まれ、議会活動が伝わる議会広報の基本と編集技術」と題して、住民の関心を高める判断材料や情報の発信が必要であること、伝える広報編集技術を先進事例などを紹介しながら講演しました。また道内10町議会の議会広報クリニックが行われました。

研修に参加し、今後の議会広報作成に際し技術向上、そしてより町民に伝わる広報の作成に努めていかなければならないと感じました。

511名の参加予定でしたが、台風の影響で欠席も多数ありました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

ひとことインタビュー

議会を傍聴された方に
感想を聞いてみました

◆議会を傍聴したきっかけは？
ポスターなどを見ました。

◆傍聴した感想は？

今回の一般質問は、同じ内容のものが多いようでした。

再質問でも、何を聞きたいのか伝わってこなかった議員もいて少々残念でした。

質問が二項目の場合、時間配分を考
えながら行ってほしいです。何か質問
が途中で終わってしまったような気が
しました。

◆議会に望むことは？

有意義な議会活性化研修会が行われ
たようですが、ぜひ今後に生かしてほ
しいと思います。期待しています。

所管事務調査を実施

総務文教、産業建設の各常任委員会では、議会閉会中も所管事務調査などの調査活動を行っています。

総務文教常任委員会

□7月21日（木）

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施

（調査項目）

入札執行状況／今後のまちづくり／国民健康保険事業の運営／町税の収納及び賦課状況等／各種福祉政策／児童センターの運営／各種予防業務／子育て支援センターの運営／図書館・歴史館の運営／その他所管する事項

□10月26日（水）

○合同所管事務調査として
こども園の外構整備状況
および運営について、担当者から説明を受け、調査を実施

産業建設常任委員会

□7月26日（火）

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施

（調査項目）

農業振興／畜産振興／中小企業振興／堆肥供給センターの運営／温泉保養センターの管理運営／町営及び町有住宅の維持管理／建築及び土木工事の執行状況／上下水道事業の運営／道路・河川の維持管理／公園の維持管理／町有林の維持管理／その他所管する事項

□8月26日（金）

○所管する事務について、担当者から現地で説明を受け、調査を実施
（調査項目）

町営及び町有住宅の維持管理（訓
高旧教員住宅の取得・改修につい
て）

□10月26日（水）

○合同所管事務調査としてこども園の外構整備状況について、担当者から説明を受け、調査を実施

議会の主なうごき

8月	9月	10月
4日 高齢者スポーツ大会(議長)	1日 産業建設常任委員会	5日 議会基本条例研究部会
6日 くねっぶ静寿園七夕納涼祭(議長)	2日 総務文教常任委員会	11日 北見地区消防組合議会(北見市:消防組合議員)
9日 北海道旅客鉄道株式会社関連要望(札幌市:議長)	9日 敬老祭(正副議長、総文委員長)	議会広報特別委員会
10日 議会活性化特別委員会	13日 議会運営委員会	議会基本条例研究部会
15日 豊年盆踊り大会(議長)	産業建設常任委員会	12日 開基120年記念植樹(議長)
18~19日 道内行政視察研修(浦幌町・広尾町:全議員)	13~15日 第3回定例会	14日 議会活性化特別委員会
23日 議会広報研修会(札幌市:委員1名)	14日 くねっぶ静寿園敬老会(議長)	議会広報特別委員会
26日 議会運営委員会	15日 議会運営委員会	17日 網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟役員会(北見市:議長)
全員協議会	全員協議会	18~19日 オホーツク圏活性化期成会
産業建設常任委員会所管事務調査	議会広報特別委員会	秋季要望(札幌市:議長)
議会活性化特別委員会	議会基本条例研究部会	20日 北網ブロック町議会議員研修会(美幌町:議員9名)
28日 陸上自衛隊美幌駐屯地創立65周年記念行事(美幌町:議長)	21日 顕彰審議会(正副議長、総文・産建委員長)	25日 議会基本条例研究部会
31日 議会運営委員会	秋の全国交通安全街頭パレード(議員9名)	26日 総務文教・産業建設常任委員会所管事務調査
	26日 議会広報特別委員会	27~28日 決算審査特別委員会
	議会活性化特別委員会	30日 訓子府小学校学芸会(議長、総文委員長)

委員会の活動

議会運営委員会

□ 8月26日(金)
○ 第3回定例会の提出議案について協議を行った。

□ 8月31日(水)
9月13日(火)・15日(木)
○ 第3回定例会の運営方法について協議を行った。

総務文教常任委員会

□ 9月2日(金)
○ 第3回定例会における議案の審査を行った。
□ 10月26日(水)
○ 所管事務調査を行った。

産業建設常任委員会

□ 8月26日(金)
10月26日(水)
○ 所管事務調査を行った。
□ 9月1日(木)・13日(火)

○ 第3回定例会における議案の審査を行った。

議会広報特別委員会

□ 9月15日(木)
○ 「議会だより」第190号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認を行った。
□ 9月26日(月)
○ 第3回定例会での一般質問の原稿等を確認した。
□ 10月11日(火)・14日(金)
○ 「議会だより」第191号の確認作業を行った。

あとがき

5月の「議会改革シンポジウム(札幌市)」、7月の「議会活性化研修会」、8月の「議会基本条例先進地視察(十勝)」と今年の議会は「議会の活性化」に向けて議員全員が勉強を続けています。

年明けに開催を予定している議会報告会では、これまでの成果を踏まえた新しい姿を見せられるように努力していきたいと思えます。

余湖 龍三

議会広報特別委員会

委員長 山田 日出夫
副委員長 河端 芳恵
委員 須河 徹
工藤 弘喜
余湖 龍三
川村 進
西森 信夫
堤 三樹磨
西山 由美子

議長 上原 豊茂